



菅田中学校だより

5月号

創造の意気ここにあり

令和4年4月28日

学校長 遠藤まり

学校ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/sugeta/>

学校長 遠藤 まり



学校では新型コロナウイルス感染症の陽性者は後を絶たず、予定していた授業参観も分散とさせていただき、保護者のみなさまにもご協力をいただきました。ありがとうございました。学校の教育活動が以前のように戻るにはまだ時間がかかりそうです。

6月10日に予定している体育祭についても、感染拡大防止の対策をとりながらの実施となります。PTA役員様ともご相談の上、2年間参観ができなかった中学校生活最後の体育祭となります。3年生の保護者（各家庭1名）様と地域の代表の方に時間を決めて参観していただくことにしました。1・2年生の保護者様には大変申し訳ありませんが、配信を検討していますのでご了承いただけますようよろしくお願いいたします。

～菅田中学校でのGIGAスクール構想実現に向けた取組を紹介します～

生徒の資質・能力を高めるために一人一台端末（Chromebook）の利用を推進しています

個別最適な学び

全ての生徒が基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得し、思考力・判断力・表現力等や、自ら学習を調整しながら粘り強く学習に取り組む態度等を身に付けられるようにします。

MONOXER 本格導入

昨年度は、一年を通して試行した Monoxer（以下：モノグサ）を、本年度は副教材として本格導入しました。

What's Monoxer?

“ 解いて憶える記憶アプリ ”

Monoxerは、全ての学習者の記憶定着をサポートし、成績を向上させる学習サービスです。

漢字の書き取りや英単語、理科や社会の単純な知識など、今まで授業だけではカバーできなかった部分を補ってくれるアプリです。記憶定着のために、AIが生徒一人一人に最適化した難易度の問題を自動で生成し、最適化されたタイミングで出題します。毎日こつこつと取り組むことで、確実に長期記憶になっていくため、今まで「どうやって勉強すればいいのかかわからない」と思っていた生徒にとって大きな助けになります。個別最適な学びを実現するため、効果的な活用を推進していきます。

協働的な学び

生徒一人一人が自分のペースを大事にしながら共同で作成・編集等を行う活動や、多様な意見を共有しつつ合意形成を図る活動などを活発に行っています。遠隔地の専門家とつないだ授業など、今までできなかった学習活動も行っています。

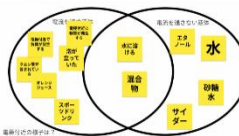


様々な教科で Google ドキュメント/スプレッドシート/スライド (Microsoft でいう Word/Excell/Power Point) といった、大人が使っているものと同じツールを使って授業を行っています。これらのツールを使って、一つのファイルをグループで編集したり、意見を共有したりしています。



修学旅行の事前学習では、Zoom を使って実際に修学旅行でガイドをする方の解説を聞いたり、質問をしたりと双方向型の学習を行いました。

総合的な学習の時間では、自分たちで調べたことを Google スライド上で共同編集して、プレゼンテーション形式で発表しました。



様々な場面で、付箋をホワイトボード上に貼って、考えをまとめていくような授業も行っています。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」は令和3年1月の中央教育審議会答申『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」で示されたキーワードです。

◆教職員の働き方改革の推進について◆

本校でも、教職員の休日の確保、適正な勤務時間において、平日の時間外や休日は留守番電話対応をさせていただいています。みなさまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。